

提案者名：北海道鹿追町

(共同提案者：なし)

対象年度：令和4年度

<総論>

1. 民生部門の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロの実現について

役場周辺エリアでは、ZEC 化事務局会議を 7/25 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有した。また、役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務を発注し、太陽光発電、水素燃料電池、自営線ネットワークの拡張、CEMS の改修、各施設の Nearly ZEB 化改修等を一括で発注するための要求水準の作成を開始した。

瓜幕エリアでは、瓜幕エリア・留学センター新設事務局会議を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有した。令和 5 年度に、瓜幕エリアの再エネ導入や新山村留学センターの基本構想等の検討業務を発注し、計画を具体化していくことを予定している。

然別湖エリアでは、ゼロカーボンパーク化事務局会議を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有した。また、2/17 にホテル事業者と太陽光発電導入、温泉熱活用、LED 化等の実施方針を協議した。今後も定例会議を実施し、ホテル事業者と進捗確認をし、事業推進を後押しすることを予定している。

エネルギー供給エリアでは、地域新電力設立事務局・第 3BGP 新設事務局会議を 2/24 に開催し、今後の進め方等を協議した。令和 5 年度も、地域新電力設立予定事業者である鹿島建設を中心に、検討を継続して実施することを予定する。

2. 計画の変更箇所について

番号 163490001～163490006 (役場周辺エリアの Nearly ZEB 化改修) に関して、3 カ年の複数年契約で概略設計期間を延長したことに伴い、年度配分を見直した。また、発注支援業務部分を番号 163490044 (執行事務委託) に修正して計上した。

番号 163490040・163490045 (脱炭素車両の導入)、163490042・163490043 (EV ステーションの設置) に関して、今年度執行分を次年度に振り分けた。

番号 163490044 (執行事務委託) に関して、当初実施予定分について実績との差分を次年度に振り分け、番号 163490001～163490006 (役場周辺エリアの Nearly ZEB 化改修) に計上していた発注支援業務を執行事務費に修正して計上した。

3. 計画の変更可能性、今後の展開について

- ・ 2030 年までで事業計画していたが、5 年間で実施となったため計画の変更が必要となっている。
- ・ 役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務での検討結果に応じて、規模の縮小又は増加、実施項目変更の可能性はある。
- ・ 新山村留学センターへの再エネ導入量等について、今後の施設機能の検討結果 (機能の統合等) に応じて、規模の縮小又は増加、実施項目変更の可能性はある。
- ・ V2H 導入施設の選定結果に応じて、V2L への変更の可能性はある。
- ・ 第 3 の北鹿追バイオガスプラントの新設と、その電力も活用した新電力の設立により、民生部門の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロを見込んでいた。しかし、バイオガスプラントの新設について

は、物価変動等により事業費の見通しが立たず、2030年までの建設が難しい状況となった。それに伴い新電力の設立検討も進捗が遅れている状況である。町内のバイオガス発電の環境価値を買い戻すことも並行して令和5年度に検討を行うことを予定している。

4. その他（評価委員会からの講評への対応状況等）

- ・ 2025年度に新たに設立を目指す地域新電力会社は、出資企業が選定されており、今後、事業性評価を複数年で実施することにより、着実に設立に向けた検討・調整を行うことを期待。
 - 地域新電力会社の設立に向けて、設立予定事業者である鹿島建設で検討を実施中。地域新電量設立事務局を創設し、進捗管理を行っていくことを予定。2/24に事務局会議を開催し、今後の進め方等を協議。
- ・ 一方、水素エネルギーについては、近隣地域との連携した需要確保などにより事業性を確実にする必要があるところ、特にこれらについては、今後、評価委員会でもフォローアップしていくので、早期に対応されたい。
 - 鹿追水素ファームにて、水素エネルギーの利用先の拡大について、営業展開をしているところである。

<事業費>

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		9,663	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	52,207	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		61,807	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

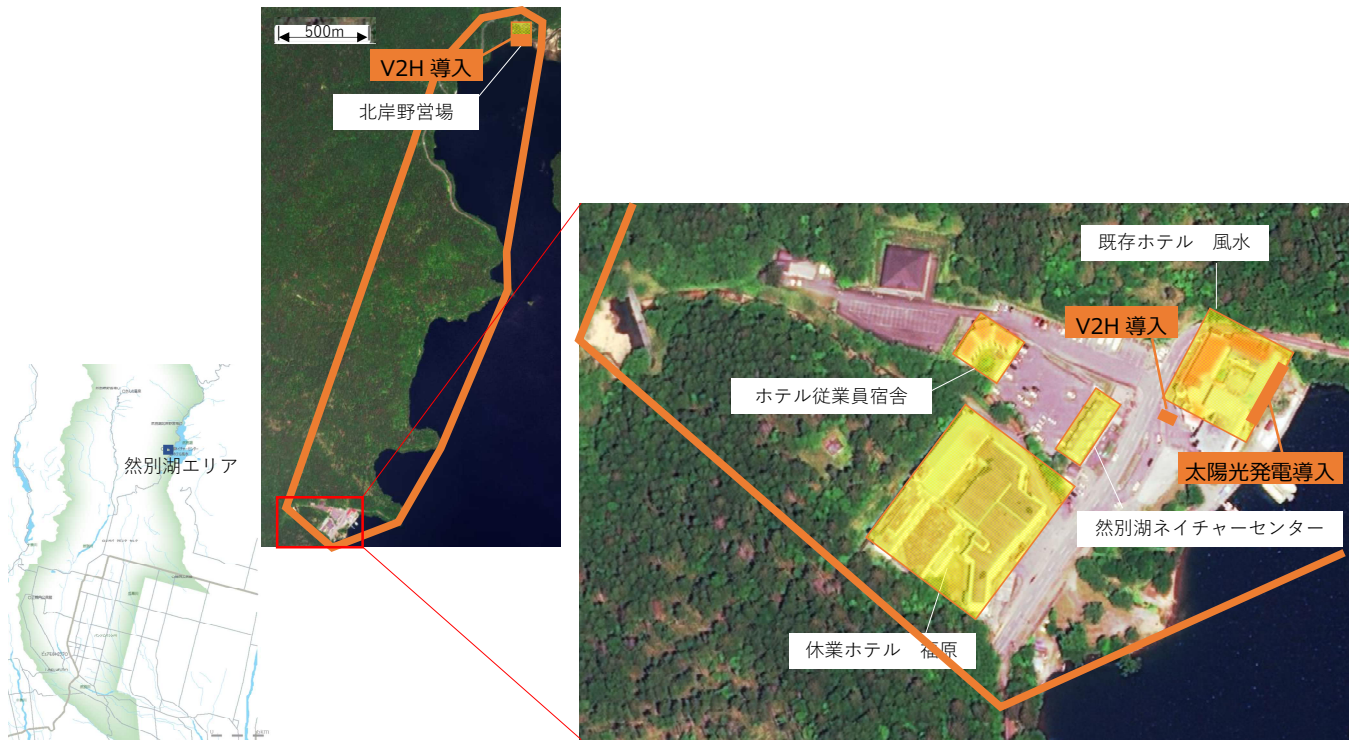
※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。



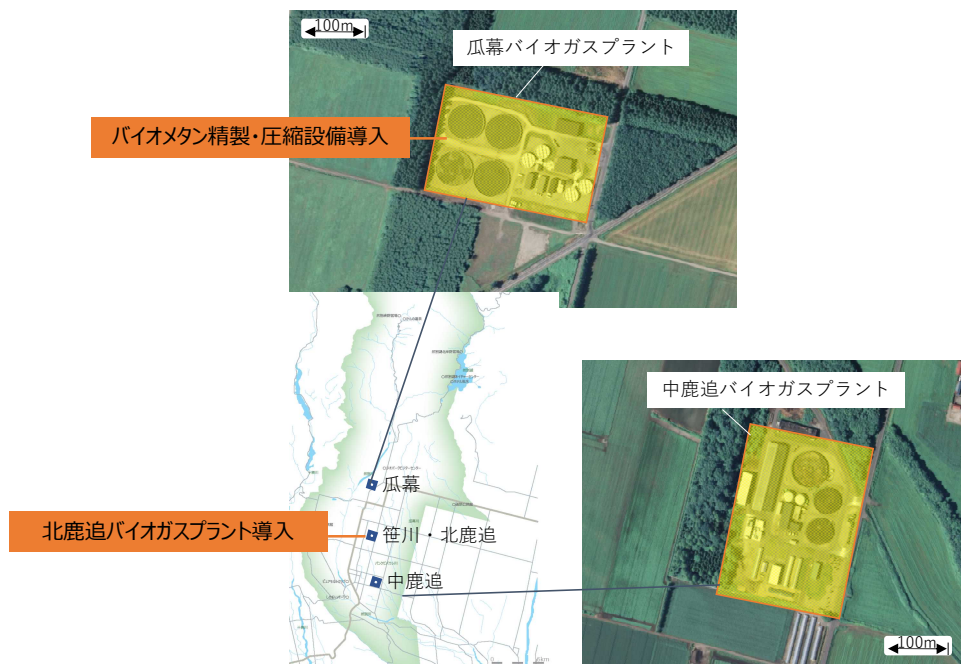
役場周辺エリア：詳細について検討中



瓜幕エリア：詳細について令和5年度検討予定



然別湖エリア：既存ホテル風水について詳細検討中。休業ホテル福原について事業者と協議中。



エネルギー供給エリア：バイオメタン精製・圧縮設備導入について令和6年度から検討予定。北鹿追バイオガスプラントについて物価変動等が落ち着き事業費の見通しがつき次第着手。

【「実質ゼロ」の達成率】

$$\left(\begin{array}{c} \text{再エネ等の電力供給量} \\ \text{(A)} \end{array} \begin{array}{c} (\%) \\ 0 \\ \text{(kWh/年)} \end{array} + \begin{array}{c} \text{省エネによる電力削減量} \\ \text{(B)} \end{array} \begin{array}{c} (\%) \\ 0 \\ \text{(kWh/年)} \end{array} \right) \div \begin{array}{c} \text{民生部門の電力需要量} \\ \text{(C)} \end{array} \begin{array}{c} 6,077,264 \\ \text{(kWh/年)} \end{array} = \begin{array}{c} 0 \\ (\%) \end{array}$$

No.	種類	民生部門の電力需要家	件数	合意形成の状況	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				再エネ等の電力供給元 (発電主体)	省エネによる電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	実施取組
						合計	内訳						
							自家消費等	相対契約	再エネメニュー				
①	公共施設	役場周辺エリア (役場、トリムセンター、神田日活記念美術館、町民ホール、健康温水プール、鹿追小学校、認定こども園、国民健康保険病院、交流センターみない、道の駅)	10	<input type="checkbox"/> 合意済み <input checked="" type="checkbox"/> 一部合意 <input type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	1,679,436	0	0	0	0	0	1,192,600	789	【再エネ】 水素燃料電池、太陽光発電、蓄電池、自営線、CEMS、太陽熱 【省エネ】 Nearly ZEB 化改修、電気式ヒートポンプ空調
②	公共施設	瓜幕エリア (瓜幕小学校、瓜幕中学校、瓜幕保育所、山村留学センター、道の駅、ウリマックホール)	6	<input type="checkbox"/> 合意済み <input checked="" type="checkbox"/> 一部合意 <input type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	219,333	0	0	0	0	0	31,796	103	【再エネ】 太陽光発電、メタンコジェネ、太陽熱、蓄電池、自営線 【省エネ】 Nearly ZEB 化建て替え
③	民生・業務	然別湖エリア (然別湖ネイチャーセンター、風水 (既存ホテル)、福原 (休業ホテル))	3	<input type="checkbox"/> 合意済み <input checked="" type="checkbox"/> 一部合意 <input type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	568,651	0	0	0	0	0	241,297	267	【再エネ】 太陽光発電、 【省エネ】 温泉熱利用、LED化、ZEB化
④	公共施設	その他の公共施設群	297	<input type="checkbox"/> 合意済み <input type="checkbox"/> 一部合意 <input checked="" type="checkbox"/> 一部説明 <input type="checkbox"/> 未説明	3,609,844	0	0	0	0	0	0	1,697	【再エネ】 地域新電力 【省エネ】
合計					(C) 6,077,264	(A) 0	0	0	0	0	(B) 1,469,059	2,856	

電力需要家との合意形成の状況について（詳細）

役場周辺エリアでは、ZEC 化事務局会議を 7/25 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有した。また、役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務を発注し、太陽光発電、水素燃料電池、自営線ネットワークの拡張、CEMS の改修、各施設の Nealy ZEB 化改修等を一括で発注するための要求水準の作成を開始した。

瓜幕エリアでは、瓜幕エリア・留学センター新設事務局会議を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有した。令和 5 年度に、瓜幕エリアの再エネ導入や新山村留学センターの基本構想等の検討業務を発注し、計画を具体化していくことを予定している。

然別湖エリアでは、ゼロカーボンパーク化事務局会議を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有した。また、2/17 にホテル事業者と太陽光発電導入、温泉熱活用、LED 化等の実施方針を協議した。今後も定例会議を実施し、ホテル事業者と進捗確認をし、事業推進を後押しすることを予定している。

エネルギー供給エリアでは、地域新電量設立事務局・第 3BGP 新設事務局会議を 2/24 に開催し、今後の進め方等を協議した。令和 5 年度も、地域新電力設立予定事業者である鹿島建設を中心に、検討を継続して実施することを予定する。

< 民生部門の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロの実現について >

【再エネに係るもの】

○取組①：役場周辺エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力(kW)	0	0	0	0	0	150	0	0	0
		(累計)出力(kW)	447	447	447	447	447	597	597	597	597
状況	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力(kW)	0	0	0	0	0	検討中	0	0	0
		(累計)出力(kW)	447	447	447	447	447	検討中	検討中	検討中	検討中

(説明)

役場周辺エリアでは、現状では太陽光発電 447kW の電力を、自営線ネットワークを設置し自家消費している。令和4年は役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務を発注し、太陽光発電、水素燃料電池、自営線ネットワークの拡張、CEMS の改修、各施設の Nealy ZEB 化改修等を一括で発注するための要求水準の作成を開始し、令和7年度に工事発注を予定している。当初の計画提案書では、太陽光発電 130kW、水素燃料電池 20kW、蓄電池 100kWh を予定していたが、導入量を上記業務の中で検討中である。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組②：瓜幕エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	—	設計	設計	設計	工事	工事完了	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力(kW)	0	0	0	0	0	40	0	0	0
		(累計)出力(kW)	10	10	10	10	10	50	50	50	50
状況	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力(kW)	0	0	0	0	0	検討予定	0	0	0
		(累計)出力(kW)	10	10	10	10	10	検討予定	検討予定	検討予定	検討予定

(説明)

瓜幕エリアでは、瓜幕小学校に現在 10kW の太陽光発電を設置し、自家消費している。令和 5 年度に、瓜幕エリアの再エネ導入や新山村留学センターの基本構想等の検討業務を発注し、計画を具体化していくことを予定している。当初の計画提案書では、太陽光発電 30kW、メタンコジェネ 10kW、蓄電池 50kWh、自営線ネットワークの導入を予定していたが、導入量を上記業務の中で検討する予定である。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組③：然別湖エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程	—	—	—	—	設計	工事完了	運用	運用	運用	
	目標値	(単年度)出力(kW)	0	0	0	0	0	20	0	0	0
		(累計)出力(kW)	0	0	0	0	0	20	20	20	20
状況	工程	—	—	—	—	設計	工事完了	運用	運用	運用	
	実績	(単年度)出力(kW)	0	0	0	0	0	検討予定	0	0	0
		(累計)出力(kW)	0	0	0	0	0	検討予定	検討予定	検討予定	検討予定

(説明)

然別湖エリアでは、当初の計画提案書では、既存ホテルに20kWの太陽光発電を導入することを予定している。2/17にホテル事業者とその方針を改めて確認し、今後ホテル事業者が主体で導入計画を具体化していくこととした。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

【省エネに係るもの】

○取組①：役場周辺エリア 公共施設（役場、トリムセンター、神田日勝記念美術館、町民ホールの断熱改修、LED化、による Nearly ZEB化）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

役場周辺エリアでは、令和4年は役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務を発注し、太陽光発電、水素燃料電池、自営線ネットワークの拡張、CEMS の改修、各施設の Nealy ZEB 化改修等を一括で発注するための要求水準の作成を開始し、令和7年度に工事発注を予定している。当初の計画提案書では、役場、トリムセンター、神田日勝記念美術館、町民ホール、健康温水プールで(ケ)ZEB や(テ)高効率設備等、鹿追小学校で(テ)高効率設備等 (LED 化)、健康温水プールに(ウ)熱利用設備 (太陽熱) を実施することを予定していたが、上記業務による調査結果に応じて、規模の縮小又は増加、項目の追加や変更の可能性はある。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		9,663,000	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	19,320,000	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		28,983,000	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組②：役場周辺エリア 公共施設（道の駅の Nearly ZEB 化）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	—	—	設計	工事	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

（説明）

新道の駅を Nearly ZEB で増築することを予定している。令和4年は一般財団法人北海道道路管理技術センターと、今後道内への普及モデルとして、共同で新道の駅における再生可能エネルギーの導入について検討を開始した。実施設計は令和7年度からを予定しているが、令和6年又は5年度に前倒して行う可能性がある。

（事業費）

（単位：千円）

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^注
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組③：瓜幕エリア

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	設計	設計	設計	工事	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	—	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

瓜幕エリアでは、瓜幕小学校に現在 10kW の太陽光発電を設置し、自家消費している。令和 5 年度に、瓜幕エリアの再エネ導入や新山村留学センターの基本構想等の検討業務を発注し、計画を具体化していくことを予定している。当初の計画提案書では、太陽光発電 30kW、メタンコジェネ 10kW を予定していたが、導入量を上記業務の中で検討する予定である。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組④：然別湖エリア 宿泊施設（風水（既存ホテル）のLED化、窓等の断熱化）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	—	—	—	設計	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	—	—	—	—	設計	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

然別湖エリアでは、当初の計画提案書では、宿泊施設（風水（既存ホテル）のLED化、窓等の断熱化を実施することを予定している。2/17にホテル事業者とその方針を改めて確認し、今後ホテル事業者が主体で導入計画を具体化していくこととした。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組⑤：然別湖エリア 宿泊施設（休業ホテルのZEB化再建）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	—	—	設計	工事	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	—	—	—	設計	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

然別湖エリアでは、当初の計画提案書では、休業ホテルのZEB化再建を実施することを予定している。休業ホテル事業者と事業の継続意向や建物の解体等について協議を継続しており、令和5年度も実施していく。工事内容等に対する国立公園からの認可等について、詳細な検討・協議を今後実施。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

< 民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の取組 >

○取組①：然別湖エリア 温泉熱の活用

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	—	—	—	設計	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	—	—	—	—	設計	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

然別湖エリアでは、当初の計画提案書では、宿泊施設（風水（既存ホテル）で温泉熱の活用（然別湖エリアで温泉熱を熱交換機で回収し、暖房・給湯に利用している重油消費量を削減）を予定している。2/17にホテル事業者とその方針を改めて確認し、今後ホテル事業者が主体で導入計画を具体化していくこととした。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組②：役場周辺エリア 太陽熱温水器の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	設計	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

役場周辺エリアでは、令和4年は役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務を発注し、太陽光発電、水素燃料電池、自営線ネットワークの拡張、CEMS の改修、各施設の Nealy ZEB 化改修等を一括で発注するための要求水準の作成を開始し、令和7年度に工事発注を予定している。当初の計画提案書では、健康温水プールに(ウ)熱利用設備(太陽熱)を実施することを予定していたが、上記業務による調査結果に応じて、規模の縮小又は増加、項目の追加や変更の可能性はある。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組③：瓜幕エリア 太陽熱温水器の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	設計	設計	設計	工事	工事完了	運用	運用	運用
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	—	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

瓜幕エリアでは、令和5年度に、瓜幕エリアの再エネ導入や新山村留学センターの基本構想等の検討業務を発注し、計画を具体化していくことを予定している。当初の計画提案書では、新山村留学センターに太陽熱集熱機の導入を予定しており、導入量を上記業務の中で検討する予定である。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

○取組④：公用車（EV,PHEV）の導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	—	EV2台 PHEV 1台	EV2台	EV2台	EV2台	EV2台	EV2台	EV2台	EV2台
	目標値	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
状況	工程	—	設計	設計	工事	工事	工事完了	運用	運用	運用
	実績	(単年度)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—

(説明)

令和4年は町予算でEVを2台導入した。令和5年度から順次導入していくこと予定するが、車両の利用実態からEVをPHEVと変更する可能性がある。

(事業費)

(単位：千円)

	精算払・概算払	計画対象年度	前年度 ^(注)
地方公共団体の自主財源		0	
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	精算払・概算払	0	
その他交付金等 ()	精算払・概算払	0	
民間等による資金		0	
合 計		0	

注) 前年度、交付金を概算払の金額で報告していた場合、精算後の事業費を改めて記載してください。

※ その他交付金等について、必要に応じて行を追加してください。

<KPI>

○指標①：集中型 バイオガスプラント 設置等 による 循環型社会構築 乳牛ふん尿処理頭数)

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 処理頭数 (頭)	0	0	0	0	0	6000	0	0	0
	(累計) 処理頭数 (頭)	4300	4300	4300	4300	4300	10300	10300	10300	10300
実績	(単年度) 処理頭数 (頭)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(累計) 処理頭数 (頭)	4300	4300	4300	4300	4300	4300	4300	4300	4300

(説明)

基幹産業である農業の持続的な成長と、臭気や水質等の良好な生活環境確保の両立には、畜産ふん尿の処理並びに消化液の液肥利用による循環型社会の形成が必要となる。処理の過程で得られるバイオガスを利用することで、防災対策（エネルギー自給）の課題を同時に解決することができる。また、農家等の産業部門にも太陽光発電等の再エネ導入を推進し、光熱費の削減による経営の安定化、BCP対策の強化を行い、安定した雇用を支える生産体制をつくることができる。

新設する北鹿追バイオガスプラントの規模について、過年度に検討していたものから、社会情勢等を鑑みて縮小させる可能性がある。近年の資材価格の高騰等により、建設時期が不透明となっている。

○指標②：産業での太陽光発電導入容量

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 導入量 (kW)	72	72	72	72	72	72	72	72	72
	(累計) 導入量 (kW)	3945	4017	4089	4161	4233	4305	4377	4449	4521
実績	(単年度) 導入量 (kW)	0	60	100	60	100	60	60	0	0
	(累計) 導入量 (kW)	3729	3789	3889	3949	4049	4109	4169	4169	4169

(説明)

基幹産業である農業の持続的な成長と、臭気や水質等の良好な生活環境確保の両立には、畜産ふん尿の処理並びに消化液の液肥利用による循環型社会の形成が必要となる。処理の過程で得られるバイオガスを利用することで、防災対策（エネルギー自給）の課題を同時に解決することができる。また、農家等の産業部門にも太陽光発電等の再エネ導入を推進し、光熱費の削減による経営の安定化、BCP対策の強化を行い、安定した雇用を支える生産体制をつくることことができる。

重点対策加速化事業に申請し、採択されれば令和5年度から補助事業を実施見込みである。

○指標③：ワーケーション受け入れ回数

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 受け入れ回 数(回)	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	(累計) 受け入れ回 数(回)	4	9	15	22	30	39	49	60	72
実績	(単年度) 受け入れ回 数(回)	2	5	6	7	8	9	10	11	12
	(累計) 受け入れ回 数(回)	2	7	13	20	28	37	47	58	60

(説明)

ワーケーション誘致、ゼロカーボン連携企画の実施により、観光客の誘致や長期滞在の課題解決、町内及び町外への環境教育や人材育成、鹿追町のゼロカーボンへの取組のPR効果を見込むことができる。また、農家、事業所等のテーマ毎に省エネ診断を実施し、省エネのポイント等を講演会や勉強会等のイベントと連携して周知することで、町内のエネルギー消費の削減、ライフスタイルの見直しや環境教育の効果が期待される。

令和4年度の受け入れ回数は2回であった。

○指標④：ゼロカーボン 連携企画実施数（環境教育、セミナー、研修等）

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 実施数(回)	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	(累計) 実施数(回)	4	9	15	22	30	39	49	60	72
実績	(単年度) 実施数(回)	3	5	6	7	8	9	10	11	12
	(累計) 実施数(回)	3	8	14	21	29	38	48	59	71

(説明)

ワーケーション誘致、ゼロカーボン連携企画の実施により、観光客の誘致や長期滞在の課題解決、町内及び町外への環境教育や人材育成、鹿追町のゼロカーボンへの取組のPR効果を見込むことができる。また、農家、事業所等のテーマ毎に省エネ診断を実施し、省エネのポイント等を講演会や勉強会等のイベントと連携して周知することで、町内のエネルギー消費の削減、ライフスタイルの見直しや環境教育の効果が期待される。

令和4年度は、8月5日と、1月12日にPanasonic連携事業として「エネルギーの“創・蓄・省”ともものづくり教室開催」を開催した。11月19日に鹿追町ゼロカーボンセミナーを開催した。

○指標⑤：省エネ診断実施件数

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 件数(件)	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	(累計) 件数(件)	3	6	9	12	15	18	21	24	27
実績	(単年度) 件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(累計) 件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

農家、事業所等のテーマ毎に省エネ診断を実施し、省エネのポイント等を講演会や勉強会等のイベントと連携して周知することで、町内のエネルギー消費の削減、ライフスタイルの見直しや環境教育の効果が期待される。

当初、脱炭素先行地域交付金で実施予定であったが、交付対象として認められなかったため、実現見込みがなくなったため、KPI から削除する計画変更を相談する必要がある。

○指標⑥：地域新電力売電量

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 売電量 (kWh)	0	0	0	0	0	18376	18376	18376	18376
	(累計) 売電量 (kWh)	0	0	0	0	0	18376	36752	55128	73504
実績	(単年度) 売電量 (kWh)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(累計) 売電量 (kWh)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

北鹿追バイオガスプラントの建設と地域新電力を介した電力供給により、電力の地産地消を行い、域外へのエネルギー資金の流出を抑え、地域内で経済を循環することができる。また、バイオガスプラントの運転管理や、地域新電力での電力需給調整などで、町内に新規の雇用が創出されることが見込まれる。

新設する北鹿追バイオガスプラントの規模について、過年度に検討していたものから、社会情勢等を鑑みて縮小させる可能性がある。近年の資材価格の高騰等により、建設時期が不透明となっている。

○指標⑦：新規雇用者数

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 雇用者数 (人)	0	0	0	0	0	20	0	0	0
	(累計) 雇用者数 (人)	0	0	0	0	0	20	20	20	20
実績	(単年度) 雇用者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(累計) 雇用者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(説明)

北鹿追バイオガスプラントの建設と地域新電力を介した電力供給により、電力の地産地消を行い、域外へのエネルギー資金の流出を抑え、地域内で経済を循環することができる。また、バイオガスプラントの運転管理や、地域新電力での電力需給調整などで、町内に新規の雇用が創出されることが見込まれる。

新設する北鹿追バイオガスプラントの規模について、過年度に検討していたものから、社会情勢等を鑑みて縮小させる可能性がある。近年の資材価格の高騰等により、建設時期が不透明となっている。

○指標⑧：公共での太陽光発電導入容量

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 導入量 (kW)	0	0	0	0	0	160	100	200	100
	(累計) 導入量 (kW)	447	447	447	447	447	607	707	907	1007
実績	(単年度) 導入量 (kW)	0	0	0	0	0	160	100	200	100
	(累計) 導入量 (kW)	447	447	447	447	447	607	707	907	1007

(説明)

公共施設に再生可能エネルギーを導入して非常時のエネルギーを確保することや、町民へ再エネ導入を啓発して家庭にも太陽光発電の導入を進めることで自立型エネルギーが確保される。これにより、レジリエンスが強化され、安心安全な暮らしやすい住環境が得られる。

令和4年度は、役場周辺エリア ZEC 化改修等検討業務を発注し、役場周辺エリアでの導入量の精査、要求水準作成を開始した。役場周辺エリア、瓜幕エリア以外での導入施設の抽出、導入予算の整理が必要である。

別記様式第1号 別添

○指標⑨：家庭での太陽光発電導入容量

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 導入量 (kW)	168	168	168	168	168	168	168	168	168
	(累計) 導入量 (kW)	1389	1557	1725	1894	2062	2230	2398	2567	2735
実績	(単年度) 導入量 (kW)	3	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5	109.5
	(累計) 導入量 (kW)	996.5	1106.0	1215.5	1325.0	1434.5	1544.0	1653.5	1763.0	996.5

(説明)

公共施設に再生可能エネルギーを導入して非常時のエネルギーを確保することや、町民へ再エネ導入を啓発して家庭にも太陽光発電の導入を進めることで自立型エネルギーが確保される。これにより、レジリエンスが強化され、安心安全な暮らしやすい住環境が得られる。

重点対策加速化事業に申請し、採択されれば2023年度から補助事業を実施見込みである。

別記様式第1号 別添

○指標⑩：家庭での蓄電池導入容量

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 導入量 (kWh)	98	98	98	98	98	98	98	98	98
	(累計) 導入量 (kWh)	294	393	491	589	687	785	883	982	1,080
実績	(単年度) 導入量 (kWh)	0	105	105	105	105	105	105	105	105
	(累計) 導入量 (kWh)	0	105	210	315	420	525	630	735	840

(説明)

公共施設に再生可能エネルギーを導入して非常時のエネルギーを確保することや、町民へ再エネ導入を啓発して家庭にも太陽光発電の導入を進めることで自立型エネルギーが確保される。これにより、レジリエンスが強化され、安心安全な暮らしやすい住環境が得られる。

重点対策加速化事業に申請し、採択されれば2023年度から補助事業を実施見込みである。

○指標⑪：公用車の脱炭素車両の導入台数

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 導入台数 (台)	0	3	2	2	2	2	0	0	0
	(累計) 導入台数 (台)	10	13	15	17	19	21	21	21	21
実績	(単年度) 導入台数 (台)	2	3	2	2	2	2	0	0	0
	(累計) 導入台数 (台)	12	15	17	19	21	23	23	23	23

(説明)

移動を自動車に依存している地域であることから、車両からの二酸化炭素排出量を削減する必要がある。また、車両などによる自由な移動を提供する必要もある。公共車両に FCEV、EV を導入し、カーシェアリングで町民利用を促進し、公共交通の利用促進も図る。自動車から徒歩や自転車への転換を推進し、二酸化炭素排出量の削減と共に、健康の増進を図る。

FCV を 10 台導入済みであり、令和 4 年度は町予算で EV を 2 台導入した。

○指標⑫：カーシェアリング利用者数

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 利用者数 (人)	100	100	200	200	200	200	200	200	100
	(累計) 利用者数 (人)	100	200	400	600	800	1000	1200	1400	1500
実績	(単年度) 利用者数 (人)	0	100	200	200	200	200	200	200	100
	(累計) 利用者数 (人)	0	100	300	500	700	900	1100	1300	1400

(説明)

移動を自動車に依存している地域であることから、車両からの二酸化炭素排出量を削減する必要がある。また、車両などによる自由な移動を提供する必要もある。公共車両に FCEV、EV を導入し、カーシェアリングで町民利用を促進し、公共交通の利用促進も図る。自動車から徒歩や自転車への転換を推進し、二酸化炭素排出量の削減と共に、健康の増進を図る。

令和5年度より、町民へのEVの理解促進のため、イベント的に貸し出しを行うことを予定する。

○指標⑬：徒歩・自転車通勤実践率

		令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
目標値	(単年度) 実践率(%)	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	(累計) 実践率(%)	27	33	40	47	53	60	67	73	80
実績	(単年度) 実践率(%)	1	3	3	3	3	4	4	4	4
	(累計) 実践率(%)	52	55	58	61	64	68	72	76	80

(説明)

移動を自動車に依存している地域であることから、車両からの二酸化炭素排出量を削減する必要がある。また、車両などによる自由な移動を提供する必要もある。公共車両に FCEV、EV を導入し、カーシェアリングで町民利用を促進し、公共交通の利用促進も図る。自動車から徒歩や自転車への転換を推進し、二酸化炭素排出量の削減と共に、健康の増進を図る。

徒歩・自転車通勤の推奨を継続実施中である。

<事業実施体制、事業継続性等>

事業	事業者	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との連携 協議等)	事業性		課題
			コスト	事業採算性確保の見通し (金融機関協議状況等)	
・PPA事業…PPAの安 定的、継続的实施	—	—	—	—	—
・再エネ発電事業…地 域新電力への供給	鹿追町	地域新電力会社を設立し、瓜幕バイオガ スプラントに加え、新設する北鹿追バイ オガスプラントからの電力を調達し、脱 炭素先行地域内を含む町内の全公共施設 に再生可能エネルギー由来の電気を供給 する。地域新電力会社の設立に向けて、 設立予定事業者である鹿島建設で検討を 実施中。地域新電量設立事務局を創設 し、進捗管理を行っていく。2/24に事 務局会議を開催し、今後の進め方等を協 議。	検討中	検討中	新設する北鹿追バイオガスプラ ントの規模について、過年度に 検討していたものから、社会情 勢等を鑑みて縮小させる可能性 がある。近年の資材価格の高騰 等により、建設時期が不透明と なっている。
・小売電気事業(地域新 電力)…余剰再エネ電力 の買取り、再エネメニ ュー	鹿島 建設	設立予定事業者である鹿島建設で再算性 等のシミュレーションを実施し、小売メ ニューを検討中。	検討中	検討中	新設する北鹿追バイオガスプラ ントと合わせて地域新電力会社 設立検討をする必要があるた め、検討の進捗が当初予定よ りも遅れている。町内のバイオガ スプラントから環境価値を買い 戻す手法について、並行して検 討を行う予定。
・アグリゲーター事業 …エネルギーマネジメ ント運営	鹿追 町	役場周辺エリアの範囲では、鹿追町役 場、国民健康保険病院、鹿追小学校、町 民ホール等の公共施設を自営線で結んだ CEMSにより管理している。CEMSを 含めた事業スキームについては、役場周 辺エリアZEC化改修等検討業務の中で 検討中。	検討中	検討中	地域新電力会社の機能につい て、設立予定事業者である鹿島 建設とも協議が必要である。
・ 役場周辺エリアZEC化	鹿追 町	「役場周辺エリアZEC化改修等検討委 託業務」にて、各施設担当と協議しなが ら工事発注内容を検討中。	総費用… 2,079,536千 円 交付金活用額 …1,406,493 千円	収益事業ではない。	役場や小学校のNearlyZEB化 が費用対効果等の観点から困難 である可能性があり、実施内容 の変更の可能性はある。

新道の駅の Nearly ZEB化	鹿追町	ゼロカーボン交通事務局で、施設の機能や規模を整理中。	総費用… 242,450 千円 交付金活用額…162,553 千円	収益事業ではない。	—
脱炭素車両の導入(カーシェア)	鹿追町	ゼロカーボン交通事務局で、EV カーシェアの方針を令和4年度に整理し、町民への普及啓発として無料でイベント的に貸し出しを行うこととした。	総費用… 60,550 千円 交付金活用額…11,000 千円	収益事業ではない。	—
V2H の導入	鹿追町	R5 年度に統括事務局にて対象施設の整理し、順次導入予定。	総費用… 15,500 千円 交付金活用額…11,625 千円	収益事業ではない。	V2L に計画を変更する可能性がある。
既存ホテルの ZEB化	ホテル風水	ゼロカーボンパーク化事務局を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有。2/17 にホテル事業者と方針を協議。	総費用… 209,500 千円 交付金活用額…148,166 千円	検討中	実施内容を具体化し次第、国立公園と今後協議が必要。
休業ホテルの ZEB化	ホテル福原	ゼロカーボンパーク化事務局を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有。	総費用… 1,504,000 千円 交付金活用額…500,000 千円	検討中	ホテル福原の既存ホテルの活用等の意向確認が必要。実施内容を具体化し次第、国立公園と今後協議が必要。
新山村留学センター設立	鹿追町	瓜幕エリア・留学センター新設事務局を 1/27 に開催し、役場担当者間で対象施設及び実施内容の方向性について共有。	総費用… 359,700 千円 交付金活用額…242,549 千円	収益事業ではない。	—
バイオメタン精製・圧縮設備導入	鹿追町	2/24 に第 3BGP 新設事務局会議を開催し、今後の進め方等を協議。	総費用… 138,100 千円 交付金活用額…103,575 千円	検討中	—

<進捗管理の実施体制>

名称	取組内容（予定）	実施状況 （主な意見、懸念事項等）
鹿追町ゼロカーボンシティ推進協議会	「鹿追町ゼロカーボンシティ推進戦略」の進捗管理	6月21日と3月24日に開催し、進捗状況等について報告。

<他地域への展開に関する取組>

脱炭素先行地域に選定されたことで、自営線マイクログリッドやバイオガス発電プラントへの視察が増えた。町のPRとしつつ、他地域への普及啓発になっていると考えている。

< 地方公共団体実行計画の策定又は改定状況 >

地方公共団体実行計画の策定又は改定状況

取組内容	改正温対法に基づく地方公共団体実行計画の策定又は改定状況等
事務事業編	<input checked="" type="checkbox"/> 改定済（令和5年3月） <input type="checkbox"/> 改定中（ 年 月策定予定） <input type="checkbox"/> 改定予定なし （理由： ）
区域施策編	<input checked="" type="checkbox"/> 策定・改定済（令和5年3月） <input type="checkbox"/> 策定・改定中（ 年 月策定・改定予定） <input type="checkbox"/> 策定・改定予定なし （理由： ）
促進区域の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 設定済（令和5年3月） <input type="checkbox"/> 検討中（ 年 月設定予定） <input type="checkbox"/> 設定予定なし

（以下の項目については、計画対象年度に策定・改定した場合にのみ記載してください。）

【事務事業編】

計画期間：2022年～2030年

削減目標：-64%

取組概要：

取組の方針	取組施策
区域施策としての取組	公共施設の再エネ導入（太陽光発電・蓄電池・太陽熱導入・地中熱ヒートポンプ導入）、バイオガス発電プラント建設、水素エネルギーの導入、水素ステーション普及、更新公共施設のZEB化、地域新電力会社設立、バイオガスを活用した町内の雇用創出、ナショナルサイクルルートを活かした自転車利用促進、ワーケーション誘致、観光のゼロカーボン連携企画、然別湖のゼロカーボンパーク化、など
個人・組織単位での取組	事業活動における省エネルギー化の推進（電気使用量の削減、燃料使用量の削減、環境保全への意識向上・率先実行の推進）、環境配慮技術の導入（施設の新築・改築時の配慮、設備の更新時の配慮）、資源循環体制の構築（環境配慮型製品の導入、ゴミの減量・リサイクル）、など

対象	目標値
温室効果ガス総排出量	2,208t-CO2
太陽光発電設備を設置	637kW
公共施設の省エネルギー対策の徹底	目標値の設定なし
公用車の電動車の導入	目標値の設定なし
LED照明の導入	目標値の設定なし
再エネ電力調達の推進	地域新電力売電量 18,376MWh

【区域施策編】

計画期間：2022年～2030年

削減目標：

	産業部門										計	森林 吸収	計
	産業部門			業務部門			家庭 部門	運輸部門					
	製造業	建設業	農林 水産業	役場	事業者 アンケート 部分	役場・事業者 アンケート 部分以外		旅客 自動車	貨物 自動車				
2019年	2,020	446	13,391	6,120	2,458	6,848	11,754	6,657	12,545	62,239	-55,927	6,312	
2030年	1,500	307	9,153	2,208	2,025	1,346	4,084	3,662	7,806	32,092	-55,927	-23,835	
	-26%	-31%	-32%	-64%	-18%	-80%	-65%	-45%	-38%	-48%	0%	-138%	

施策の実施に関する目標：

排出部門	取組の方針	取組施策
産業	農家戸数の減少や高齢化が進む一方、戸当たりの乳牛飼育頭数が増えており、ふん尿の処理が問題となります。そこで、バイオガス化による処理や太陽光発電の導入等により、生産基盤の安定化や、その電力を活用した作業の自動化などが期待されます。吸収源となる森林は、適正管理や周辺市町村と利用連携を進め、地域で地元木材を活用できる仕組みをつくっていきます。	省エネ診断の実施、高効率機器の導入、個別酪農家での家畜糞尿のバイオガス化、など
業務その他	観光客が長期滞在しないことが主な問題点として挙げられ、ワーケーション等の誘致や、ゼロカーボンの取組を活用した企画などの誘客施策を検討します。また、然別湖エリアをゼロカーボンパーク化することで魅力向上に繋げていくためにも、温泉熱などの再生可能エネルギーの導入を進めていくこと、宿泊施設のエネルギー消費量を減らしていくことを検討します。その他町内の事業者にも広く省エネや再生可能エネルギー導入等の普及啓発を進めます。	省エネ診断の実施、省エネの普及啓発、高効率機器の導入、など
家庭	主な問題点として挙げられる安定した生活の確保は、産業部門や業務その他部門で目指す安定した雇用の達成と関与しています。自らの暮らしを快適にしながら地域経済を支えるため、省エネや再生可能エネルギー導入の普及に加え、地元食材の選択、地元サービスの活用など、ライフスタイルを見直して域外へのお金の流出を減らしていくことを目指します。	省エネ診断の実施、省エネの普及啓発、公共交通機関利用、太陽光発電・蓄電池・太陽熱等の導入、など
運輸	移動を自動車に依存していることが主な問題となっています。将来的には車両の脱炭素化や、公共交通のデマンド化が望まれますが、それを目指して車両の小型化やFCV・EV化、カーシェアリング等の取組を段階的に実施していきます。運輸貨物部門では、積載率を上げる取組を進め、効率的な輸送体制を整えます。将来的には車両の脱炭素化をできるよう、段階的な整備を行います。	トラック輸送の効率化、車両の脱炭素化、など

施策分類	目標・取組
再エネの導入促進	個別酪農家での家畜糞尿のバイオガス化、太陽光発電・蓄電池・太陽熱等の導入など
事業者・住民の省エネその他の排出抑制促進	省エネ診断の実施、省エネの普及啓発、高効率機器の導入、公共交通機関利用、トラック輸送の効率化、車両の脱炭素化など

【改正温対法に基づく促進区域の設定方針】

令和5年3月に策定した鹿追町地球温暖化対策実行計画の中で、下記のとおり定めている。

鹿追町では、①役場周辺エリア、②瓜幕エリア、③然別湖エリア、④エネルギー供給エリア、⑤その他の公共施設群、⑥重点対策群への対策を地域脱炭素化促進事業とし、町民や事業者等とも共同しながら脱炭素化の推進を目指します。

①役場周辺エリア

自営線ネットワークをエリア内のZEC（ゼロ・エネルギー・コミュニティ）化の達成に向け、更なる電気や燃料の使用量の削減、再エネ電源の活用を進めます。町内及び町外へのPR効果も持つ道の駅も対象に加えて、災害にも備えのある安心安全なまちづくりと地域資源を活用したゼロエネルギー化を両立する取組モデルとして提示し、環境教育や普及啓発の場とすることで、民間事業者や家庭の取組の加速化を目指します。

②瓜幕エリア

ゼロカーボン交流拠点の創出を目標に、自然体験留学センターの省エネ化を進めてエネルギー需要を削減した上で、バイオガスプラントや太陽光からの再エネ供給を行い、ゼロカーボンで人を受け入れる体制を整え、ワーケーション誘致を進めます。自然体験留学センターは更新することが予定されており、これを契機に施設の省エネ化を進め、近接する保育園や小学校と合わせて、エネルギーの一元管理やレジリエンスの強化を行っていきます。

③然別湖エリア

自然公園法など関連法令との調整や規制緩和について協議を行いながら、ゼロカーボンパーク化の達成を目標に、自然環境に配慮しながらゼロカーボン化を進めます。ホテルの更新や改修等を、国立公園を所管する環境省と調整しながら進めます。現在、北岸野営場の管理棟の電力は化石燃料の発電機で賄われていますが、将来的にはゼロカーボンで自然を満喫できる環境とすることが望まれます。

④エネルギー供給エリア

3基目のバイオガスプラントの建設、バイオガスプラントからの余剰熱と太陽熱の併用等による化石燃料の使用削減、水素やバイオメタンの供給体制の強化などを進め、酪農業を主産業とする地域のみならず、様々なバイオマス資源や再エネが得られる地域のモデルとすることを目指します。また、地域新電力会社を設立し、地域資源で発電した電力を地域で活用する、非化石価値を地域に還元する仕組みづくりを構築します。

⑤その他の公共施設群

役場周辺エリア、瓜幕エリア以外の公共施設全ての電力は、地域新電力会社を介してバイオガスプラントからの環境価値が付加された状態で調達し、事務事業からの電力由来の二酸化炭素排出量を実質ゼロとします。

⑥重点対策群

町内の再生可能エネルギーの普及、レジリエンスの向上、光熱費を削減できる住みよい暮らしの両立を目的とし、家庭や事業所等への太陽光発電等の導入を普及させることを目標に、町民の脱炭素化を推進します。また、産業での再生可能エネルギーの導入と光熱費の削減、非常時にも継続可能な生産体制の構築、それらに伴い強化される安定した生産・雇用の基盤づくり、農林業の二酸化炭素排出量削減のため、農家等の脱炭素化を推進します。これらの重点対策群で、太陽光発電等の再生可能エネルギー発電、蓄電池や太陽熱利用設備、電気自動車やその充放電設備などを普及させていくことを目標とします。

その他にも、ジオパーク×SDGs×脱炭素事業展開、バスや公用車の脱炭素化、ナショナルサイクルルートを活かした自転車利用促進などを、町内で共通して進めます。